

# 公共政策大学院 院生の皆様へ

## 令和2年度2学期 公共政策特別研究Ⅰ（リサーチペーパー）の執筆申請受付について

公共政策特別研究Ⅰ（リサーチペーパー）の執筆申請を、下記の通り受け付けます。。詳細はシラバスを参照のこと。「執筆申請書」は、公共政策大学院ホームページ <https://www.hops.hokudai.ac.jp/internal/download/> からダウンロードし、必要事項を記入の上、期限内に公共政策大学院教務担当に窓口・郵送・メールいずれかの方法で提出してください。

### 1. 日 程

- |  |                  |
|--|------------------|
| (1) 執筆申請（教務担当宛） <input type="checkbox"/> | 10月12日（月）17時（厳守） |
| (2) 指導教員の決定                              | 10月下旬（予定）        |
| (3) リサーチペーパー提出 <input type="checkbox"/>  | 1月29日（金）17時（厳守）  |
| (4) 可否発表                                 | 2学期成績公表時         |

※ 上記（3）の前後に、リサーチペーパー発表会を開催する。

### 2. 公共政策特別研究Ⅰ（リサーチペーパー）について

【授業の目標】各自が公共政策大学院での学習を通して設定した研究テーマについて、教員の指導を受けながら、現状分析、政策課題の抽出、政策提言などからなるリサーチペーパーを執筆する。執筆に当たっては、テーマに係る専門知識に加え、政策形成に必要な知識、参考資料の収集方法、文書作成技法など、総合的な知識を獲得・総動員しながら、深く思索して自らの主張を確立・展開する。

【到達目標】・6,000～8,000字程度のリサーチペーパーを執筆する。  
・公共政策大学院での学習を通して得た知識を総動員して研究に取り組む。  
・政策課題そのものの重要性のみならず、今日的な視点からの政策提言の必要性などを十分踏まえてテーマを設定する。  
・そのテーマに関して、国内外の先行研究や先行事例などを踏まえた考察が求められるほか、文章の論理性や説得性も重要となる。

【準備学習等の内容と分量】論文執筆の作法などについては、各自学習すること。

【成績評価の基準と方法】提出されたリサーチペーパーを基に、テーマ設定、論理構成、政策提言の内容などを総合的に勘案して成績を判定する。

【注 意】・「リサーチペーパー執筆申請書」の作成・提出に当たっては、指導を希望する教員と必ず事前にコンタクトをとり、執筆指導の承諾を得ること。  
・本科目を再度履修する場合、リサーチペーパー執筆に当たっての基礎となる科目（「基礎科目」）は2科目まで重複を認める。ただし、その場合もリサーチペーパーの内容の重複は認めない。  
・履修中（単位取得見込み）であった基礎科目の単位が結果的に取得できなかった場合、リサーチペーパーの単位は認定されない。

令和2年9月  
公共政策大学院 教務委員会